

教育文化活動助成 申請書

※ 数字は全て半角で記入

申請日	※タブから選択			団体種別	○個人	○法人	○NPO	<input checked="" type="radio"/> 学校園	○公的機関	○その他
ふりがな 団体名 《個人申請の方は氏名記入》	○○こうとうがっこう ちいきをかんがえるちーむ ○○高等学校 地域を考えるチーム									
WEB・facebook	学校園や公的機関の場合は必ず任意の団体を作ってください。そのままの名称での申請はできません。									
団体(個人)所在地 連絡先 ※書類等の送付先	○団体の事務所 ○代表者の自宅 ○代表者の勤務先 ※勤務先の場合は 法人名、学校名等 も必ずご記入ください。 〒 書類等を郵送いたしますので、必ず代表者の住所、又は団体の所在地の住所を記入してください。 代表者の住所でない場合、書類等がお手元に届かない恐れがあります。									
	TEL		E-mail							
	携帯		FAX							
ふりがな 団体 代表者名 《個人申請の方は記入不要》										
ふりがな 申請書記入者 ※申請書に不備があった場合の問合せ先	申請書について問い合わせをする場合がありますので、必ず連絡が取れる番号を書いてください。									
	TEL		E-mail							
	携帯		FAX							

▼貴団体または個人の活動全体について記載してください。

設立年月（西暦） ※個人の場合は活動開始日	年		月～	
主な構成メンバー ※団体のみ記入	氏 名	所属・職業	氏 名	所属・職業
			総メンバー数	名
設立趣旨・目的 ※個人の場合は活動趣旨・目的 【100 文字以内】				
これまでの主な活動 【150 文字以内】				
2021 年度 全体の活動計画 ※定例・準備・反省等の会議を除く活動計画	月	活動・研究の内容	月	活動・研究の内容
	4	主な活動予定を書いてください。 ただし、定例会議、準備、反省会等は除きます。	10	主な活動予定を書いてください。 ただし、定例会議、準備、反省会等は除きます。
	5		11	
	6		12	
	7		2022/1	
	8	2		
	9	3		
2022 年度の 活動計画 【100 文字以内】	今後 2 年間の主な活動予定を書いてください。			
2023 年度の 活動計画 【100 文字以内】				

▼助成金を充てる活動(申請活動)について記載してください。

※ 数字は全て半角で記入

申請活動名 ※タイトル【30文字以内】	〇〇地区活性化のための△△△△ ←※目的と活動内容を含む方が分かりやすいです。		
◆申請活動を行うにあたっての社会的背景や課題を具体的に書いてください。【300文字以内】			
<p>例)</p> <p>〇〇地区の中高生にとって、ボランティアやイベントなど、地域活動に取り組む機会がありません。そのため、中学生、高校生が自分のアイデアを校外で発信する経験が少なく、社会と自分たちとの距離を感じているように思える。将来地域の担い手として地元へ戻ってくれることを地域住民の皆が期待しているが、現在それに繋がる具体的な活動がない。</p>			
■申請活動の具体的な実施内容・方法			
①いつ ②どこで ③誰に対して ④どのような方法で取り組むのかを、それぞれ書いてください。【500文字以内】			
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>※何の活動をするかの前に、どのような課題(活動の実施背景・地域課題)に取り組み、それをどのような状態にした いのかを考え、そのためには、どのような活動の実施が必要なのか(申請活動の具体的な内容)、と順番に考えてい くことが重要になります。</p> </div> <p>例)</p> <p>〇〇地区に在住している中高生を対象に地域活動への参加状況等を調査し、その結果を踏まえて「地域の未来を考える場」というワークショップをコロナ感染予防のため Zoom にて行う。その成果を地元住民へ報告し、同時に活動レポートを配付する。</p> <p>① 4月：アンケート調査開始 6月：ワークショップ参加者を募集 9月～2月：月2回ワークショップを開催 3月：報告会開催と活動レポートを配付</p> <p>② Zoom 配信本部・報告会場として、〇〇商店街の空き店舗を利用</p> <p>③ 参加申し込みのあった〇〇地区の中高生に対して</p> <p>④ Zoom を使い、△△大学の▲▲教授を講師に迎え、自己分析や仲間づくりを図りながら地域の課題や理想のまちづくりについて語り合い、自分たちの「やりたいこと」を見つけてそれを実行できる計画を立てる。</p>			
■具体的な数値目標を書いてください。【100文字以内】			
(例：実施回数、エリア拡大、参加者数、ワークショップの参加者数、会員数、webの閲覧数、メンバー数など)			
<p>例) アンケート調査数：100件以上 ワorkshop参加者数年間延べ120名 報告会参加者数：50名</p>			
◆活動を実施することで、何がどのように変わりますか？ また、継続した活動の場合は、今回も助成対象となれば何が改善されますか？ 申請活動により目指す社会や地域住民の状態を具体的にご記入ください。【300文字以内】			
<p>例)</p> <p>若者が自分たちの住む地域の課題や理想のまちづくりについて積極的に語り合い、自らのアイデアを企画立案し、更にそれを実現させるために地域の大人が応援してくれる社会となれば、若者は地域との関わりの中で愛郷心を育み、異世代を巻き込んだ活発なコミュニティーが広がる。昨年度助成では「地元商店街の活性化」をメインテーマに、フィールドワークで地域の方々と接しながら活動し、実践成果を地域住民の前で発表した。本年度は生徒たちの地域行事に対する行動変容を調査し、その結果から自分たちで更なる課題を発見し、その解決へ繋がる活動を計画させたい。</p>			
他機関との連携はありますか。	●既にある ○これから連携する予定 ●連携したい機関がある ○ない ○その他		
連携の状況を具体的に記載してください。【200文字以内】	<p>例)</p> <p>〇〇地区内中学校4校・高校2校にアンケート依頼 上記中学高校に加え、〇〇商店街にチラシ配布依頼 △△大学(▲▲研究室)に講師とその後の分析を依頼 今後は他地区へも波及させたく、新たに〇〇教育委員会と連携し広報依頼したい。</p>		
助成金希望額 ※上限30万円	※ 半角数字 例) 30 万円	助成対象となる活動(申請区分) ※タブから選んでください。	
		募集要項の「助成対象となる活動」から該当する区分を選んでください。	

▼収支計画（2021 年度の見込額）※助成金希望額、収支合計額（色つきの部分）はそれぞれ同額になることを確認してください。

【収入】

【支出】

※ 数字は全て半角で記入

団体または個人 全体の収入（万円）		
(A)	助成金希望額	30
(B) + (C)	当財団以外の助成金	10
	補 助 金	
	協 賛 金	
	事業収益	
	団費・会費等	3
	有志寄附金	5
合計＝(A)+(B)+(C)		48 万円

申請活動全体の支出				申請活動以外の支出		
助成金希望額の内訳		当財団助成金以外の支出				
費目（使途）		金額	費目（使途）	金額	費目（使途）	金額
印刷費		10	人件費	5	定例会議費	1
通信費		3	雑費（ボランティア保険）	5	雑費	2
借上げ費		10	オンライン機器	5		
講師謝金		5				
オンライン機器		2				
計(A)		30 万円	計(B)	15 万円	計(C)	3 万円
合計＝(A)+(B)+(C)				48 万円		

助成金が必要な理由を、使途と関連づけてご記入ください【200 文字以内】

例)
印刷費・通信費は〇〇地区の全中学高校（計6校）へアンケート・チラシ・活動レポートを配付するため。
講師はアントレプレナーの養成を専門とする△△大学の▲▲教授にオンライン指導を依頼。自宅から参加が不可能な生徒のための配信本部や報告会場とする商店街空き店舗借上げ料の他、オンライン機器の不足分を補いたい。

▼申請活動に対する他の助成金や補助金（他の助成金等があっても審査対象となります）

助成・補助金機関名	助成額	状況	助成・補助金機関名	助成額	状況
一般財団法人 ×××財団	10 万円	申請中		万円	

▼当財団助成歴 ※当財団から助成を受けたことがある方は該当年度にチェックをし、助成金額、活動内容・をご記入ください。

☑ 2020 年度 （ 10 ） 万円		☐ 2019 年度 （ ） 万円		☐ 2018 年度 （ ） 万円	
活動内容	「地元商店街の活性化」をテーマに、フィールドワークで地域の方々と接しながら活動し、実践成果を地域住民の前で発表した。	活動内容		活動内容	

◆ 2021 年度 教育文化活動助成アンケート調査 ◆ ※ご回答いただきました内容は審査とは一切関わりません。

I. 公募助成についてこれまでに公募助成に申請したことがありますか

初めて申請する

採択されたことがある

申請したが、採択されたことはない

II. ご意見・ご感想 ※申請書を記入してお気づきになった点、その他当財団助成事業へのご意見など、自由にご記入ください。

ご記入内容は、当財団の助成事業に関する資料としてのみ使用します。

< 添付資料 >

※ 2020 年度に当財団の助成を受けた方が継続した活動に対する助成を申請される場合は、必ず 2020 年度の活動実績・成果を記載し、2021 年度の活動にどのように反映しているのか分かるように記載してください。

ふりがな 団体名	
個人の方は氏名を記入	

★ 2020 年度に当財団の助成を受けた方

継続した活動に対する助成を申請される場合は、必ず 2020 年度の活動実績・成果を記載し、2021 年度の活動にどのように反映しているのか分かるように記載してください。
なお、余ったスペースは従来の添付用紙として使ってください結構です。

★ 2020 年度は当財団の助成を受けていない方

助成対象となる活動や団体の PR として作成してください。
(添付資料の提出は任意です)

●制作物・イベントの写真や新聞記事等、活動状況の分かる資料を貼付してください。

●審査委員会に提出できる資料は、「申請書」と「添付資料」のみです。

●貼付する資料は、重ねないで必ず枠内に収まるようにしてください。(このままコピーしたものが審査資料となります。)

●提出資料の返却はいたしません。ご了承ください。